

2. ‘ 清水白桃 R S ’ では摘蕾を行わない（技術）

[要約]

‘ 清水白桃 R S ’ は摘蕾を行うと結実数不足となる恐れがある。本品種には摘蕾を行わない。

研究室名	果樹研究室	連絡先	0869-55-0276
------	-------	-----	--------------

[背景・ねらい]

モモ黒斑病抵抗性品種である‘ 清水白桃 R S ’ は、‘ 清水白桃 ’ に比べて結実率が低い。そのため、摘蕾を行うと結実数が不足する恐れがある。そこで、‘ 清水白桃 R S ’ に摘蕾を行い結実率、結実数に及ぼす影響について検討する。

[成果の概要・特徴]

1. ‘ 清水白桃 R S ’ は‘ 清水白桃 ’ に比べて結実率が低かった（表1）。
2. 4割程度の摘蕾処理は結実率に大きな影響を及ぼさなかったが、結果枝長10cm当たりの結実数を0.4個に低下させた。この場合の着果程度は仕上げ摘果後に近い値であり、明らかに結実不足であった（表1）。

以上の結果、慣行せん定の‘ 清水白桃 R S ’ では摘蕾すると結実不足となる場合があるため、摘蕾は行うべきでない。

[成果の活用面・留意点]

1. ‘ 清水白桃 R S ’ を導入する際、‘ 清水白桃 ’ との区別を徹底し、混乱しないよう注意する。
2. ‘ 清水白桃 R S ’ は平成13年12月3日付けで品種登録申請した。

[具体的データ]

表1 ‘ 清水白桃 R S ’ と‘ 清水白桃 ’ における摘蕾処理の有無が結実に及ぼす影響

処 理	清水白桃 R S		清水白桃	
	結実率(%)	結果枝10cm当たり結実数	結実率(%)	結果枝10cm当たり結実数
無 摘 蕾	12.5	0.7	45.6	2.4
40%摘蕾	11.7	0.4	42.2	1.4
有 意 差 ^a	n. s.	* ^b	n. s.	*

^a 結実率はマクネマー法、結実数は分散分析により検定

^b *印は5%水準の有意差を示す

[その他]

試験研究課題・事業名：放射線照射によるモモの新品種育成

予算区分：県単

研究期間：平成13～15年度

関連情報：平成11年度試験研究主要成果「ガンマ線照射によって得られた黒斑病抵抗性

‘ 清水白桃 ’ 」

：平成14年度試験研究主要成果「黒斑病抵抗性系統‘ 清水白桃RS ’ の結実性」